

(資料の紹介) 鈴木正治の空摺り

伊丸岡政彦¹⁾

Introduction of Art Document Report on Blind printing by Masaharu Suzuki

Masahiko IMARUOKA

(キーワード:) 鈴木正治 空摺り 銅版

1 はじめに

平成27年3月14日～4月20日において、青森県立郷土館企画展「彫刻家・鈴木正治の世界—齋藤葵和子コレクション寄贈記念」が開催された。当館の所有する齋藤葵和子コレクションは数が膨大である。この展示会の中で貴重な「空摺り」作品の原板である銅版を初めて展示した。本論では、「空摺り」の作品の原板である銅版について紹介する。今後の鈴木作品の研究、及び当館所蔵作品の活用の一助となれば幸いである。

本論に当たり、展示に際しご尽力いただいた鈴木正治氏のご家族の皆様、作品を寄贈いただいた齋藤葵和子氏、展示に協力頂いた古川記之氏に謝意する。

2 彫刻家鈴木正治について

鈴木正治は1919年、青森市に生まれる。その作品は、青い森公園の「国道の碑」や青森駅前「りんご樹」の看板、古川小学校校門にある石彫「子供たち」、浅虫水族館にある石彫「遊泳の輪」など、県内各地に石彫や木彫の作品を残し、県民にとって親しみを感じるとともに、県民に癒しを与えつつけている作家である。

少年時代絵や彫刻に心を奪われ過ぎた。第二次世界大戦では中国北支に招集され、過酷な戦争を体験した。復員後は美術を中央美術学園で学び製作活動を続けた。鈴木正治から生み出される作品は、デッサン力が素晴らしく、ユーモアにあふれ、観る人が時間の経過を忘れるくらい作品に心を奪われ、自然に心が癒されるあたたかく周りを包み込むオーラを秘めている。(青森県立郷土館, 2015)

3 「空刷り」について

「空摺り」とは、絵具をつけない版木に紙をのせてバレンで摺り、紙に凸凹をつけ、その凸凹の陰影により雪や波、白い着物などを表現し立体的に見せる技法である。主に浮世絵で使用する技法である。のちに外国ではエンボスと呼ばれる技法である。(東京書籍, 1985)

鈴木正治も空摺りの作品を制作している。多くの芸術家は空摺りの原板を製作する場合、硫酸などの薬品を用いて線を刻み込む。薬品で仕上げてある銅板の線は、何回か刷ると銅板の線が劣化し線が消えてしまう。

しかし、鈴木正治は薬品で線を描くのを嫌い、細かい線を自らの道具で彫り込んだ。薬品で描く細かい線とはちがいが、力強く彫り込んだ鈴木正治の線には力強さと繊細さを感じる。制作された銅板は作品としてマクロの視点で楽しみ、彫るのが難しい細かい線をミクロの視点で表現できる。(写真1・2)



写真1 くりと虫(マクロの視点)



写真2 くりと虫(ミクロの視点)

1) 青森県立郷土館学芸主査 (〒030-0802 青森市本町二丁目8-14)

表1 寄付資料一覧(AOPM 2279)

銅板番号(仮)	作品名	寸法	銅板番号(仮)	作品名	寸法
1	誕生	6.5×6.5	35	岩木山と岩木川	6.5×6.5
2	不動	6.5×6.5	36	ぼっけ	6.5×6.5
3	辰	6.5×6.5	37	らふ	6.5×6.5
4	亥	6.5×6.5	38	金太郎	6.5×6.5
5	えんぶリエんこえんこ	6.5×6.5	39	人生50	6.5×6.5
6	二人	6.5×6.5	40	りんご	6.5×6.5
7	金魚	6.5×6.5	41	十和田湖	6.5×6.5
8	りんご樹	6.5×6.5	42	くりと虫	6.5×6.5
9	不明	6.5×6.5	43	丑	6.5×6.5
10	辰	6.5×6.5	44	未	6.5×6.5
11	酉	6.5×6.5	45	熱帯魚	6.5×6.5
12	93のボク	6.5×6.5	46	ゆき	6.5×6.5
13	こぎん	6.5×6.5	47	酉	6.5×6.5
14	パンヤ	6.5×6.5	48	石の金魚	6.5×6.5
15	ゆき	6.5×6.5	49	もく拾い	6.5×6.5
16	93のボク	6.5×6.5	50	かすぺ	6.5×6.5
17	箱のなかのりんご	6.5×6.5	51	金あみ	6.5×6.5
18	よる	6.5×6.5	52	浦島太郎	6.5×6.5
19	まるめろ酒	6.5×6.5	53	申	6.5×6.5
20	サヤガタ	6.5×6.5	54	ラッパ	6.5×6.5
21	絵馬	6.5×6.5	55	りんごと樹	6.5×6.5
22	脈	6.5×6.5	56	みちのく小桜	6.5×6.5
23	角巻二人	6.5×6.5	57	木八えんぶり	6.5×6.5
24	オニ	6.5×6.5	58	りんご	6.5×6.5
25	角巻母と四人の子供	6.5×6.5	59	よる	6.5×6.5
26	りんご樹	6.5×6.5	60	寅	6.5×6.5
27	角巻二人	6.5×6.5	61	キリスト	6.5×6.5
28	岩木山 さくら りんご 城	6.5×6.5			
29	ベトナムの少年	6.5×6.5			
30	ソンミ村	6.5×6.5			
31	キリスト	6.5×6.5			
32	りんご樹	6.5×6.5			
33	ゆきの夜	6.5×6.5			
34	よる	6.5×6.5			

引用文献

東京書籍「版画辞典」1985年

青森県立郷土館「鈴木正治作品集」展示図録 2015年

凡例

- ・本稿では、2015年3月に展示した作品の中から空摺り作品の原板である銅板の図版とデータを掲載する。
- ・図版の左下にあるデータは整理番号と作品名と寸法である。作品名がわからないものについては不明と記す。
- ・整理番号については、整理作業中に仮に付した番号であり、当館受け入れ番号と異なる。受け入れ番号は全ての整理作業が終了した時点で確定される予定である。
- ・寸法は高さ(縦)×幅(横)の順としすべて cm である。
- ・技法についてはすべて空摺りの原板であるので、ここでは省略し、明記しない。



銅版1
誕生
[寸法]6.5×6.5



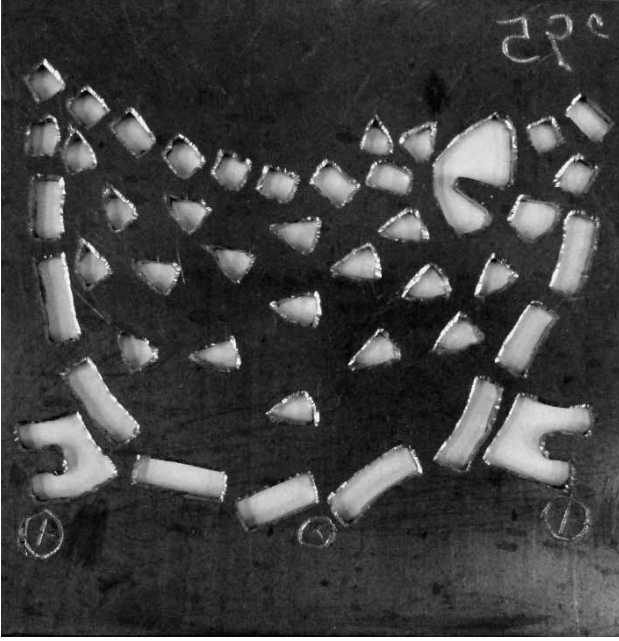
銅版2
不動
[寸法]6.5×6.5



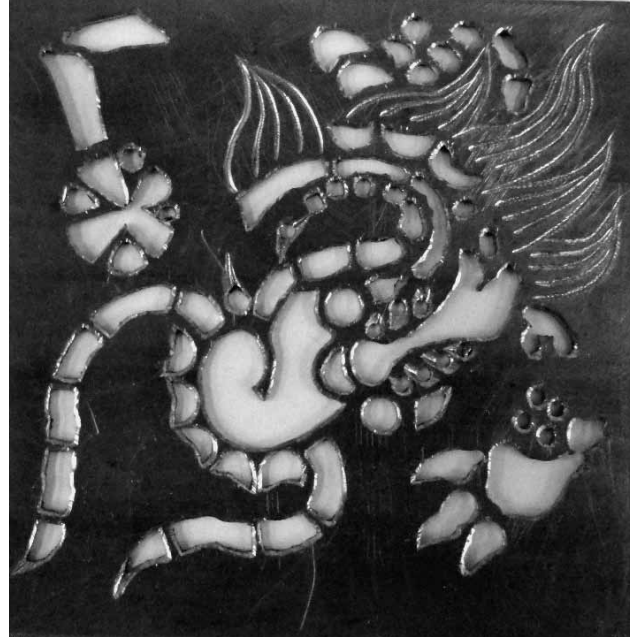
銅版31
キリスト
[寸法]6.5×6.5



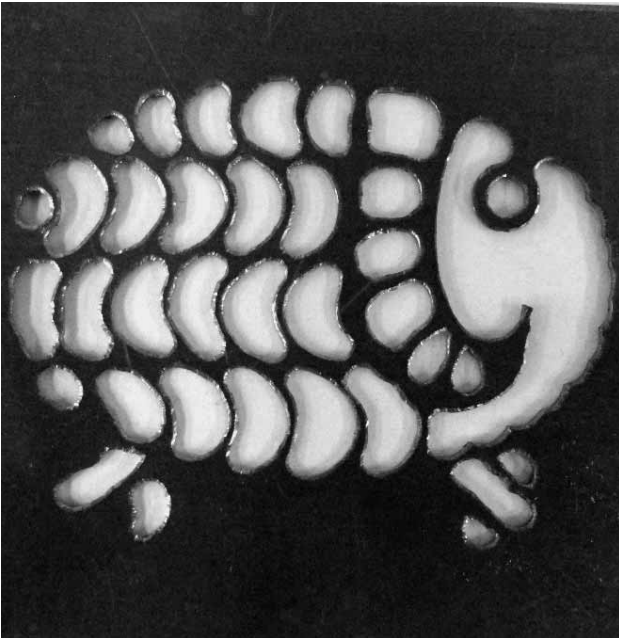
銅版67
紅不動
[寸法]6.5×6.5



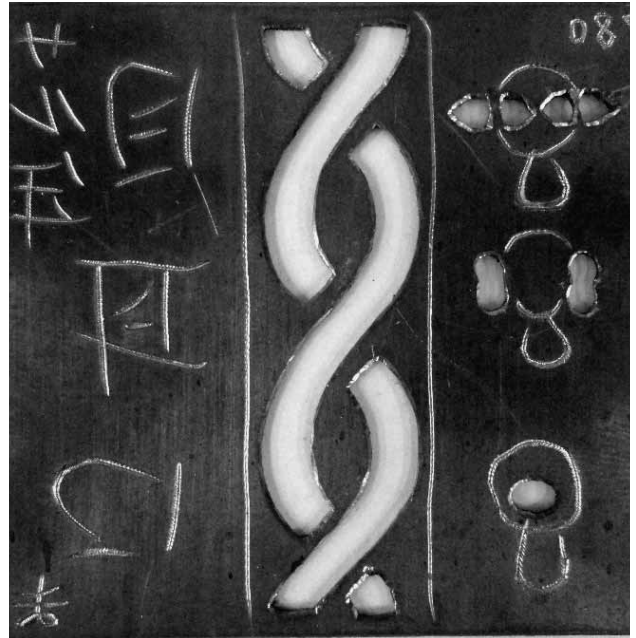
銅版4
亥
[寸法]6.5×6.5



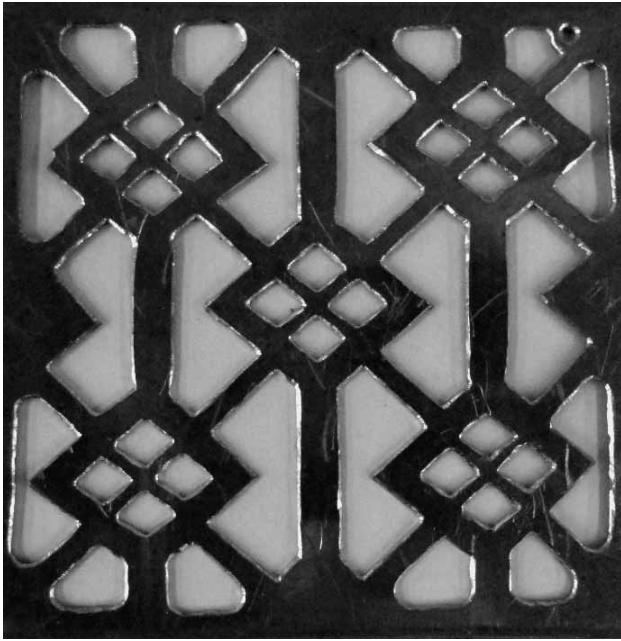
銅板10
辰
[寸法]6.5×6.5



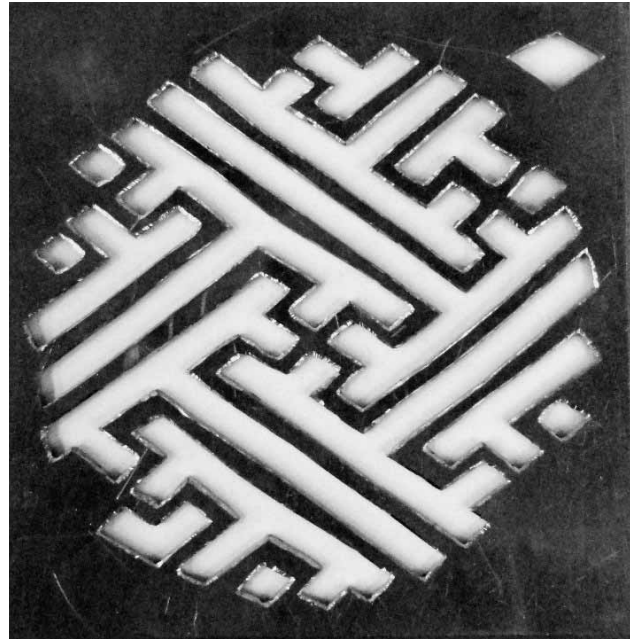
銅版44
羊
[寸法]6.5×6.5



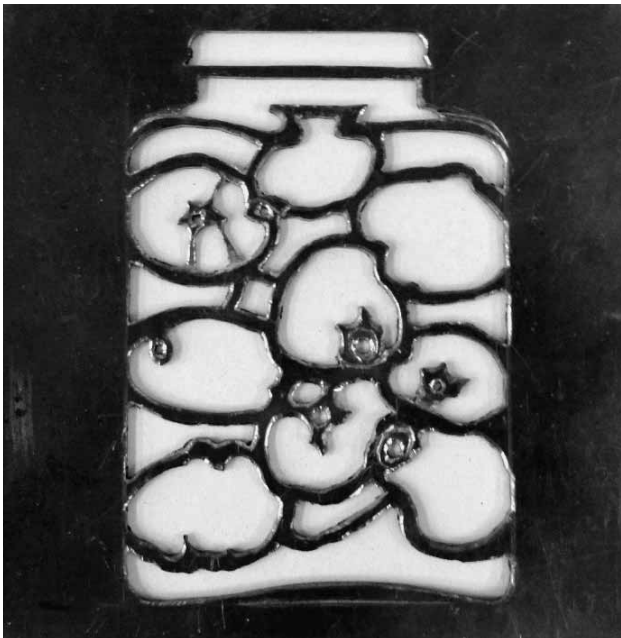
銅版53
申
[寸法]6.5×6.5



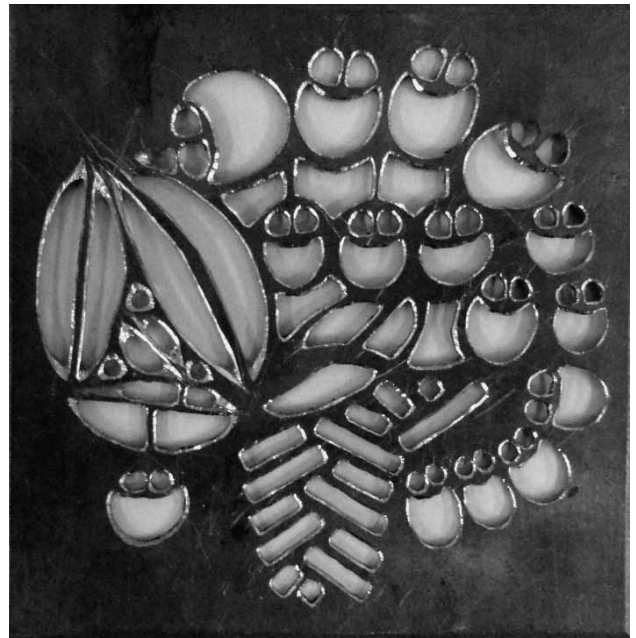
銅版13
こぎん
[寸法]6.5×6.5



銅版20
サヤガタ
[寸法]6.5×6.5



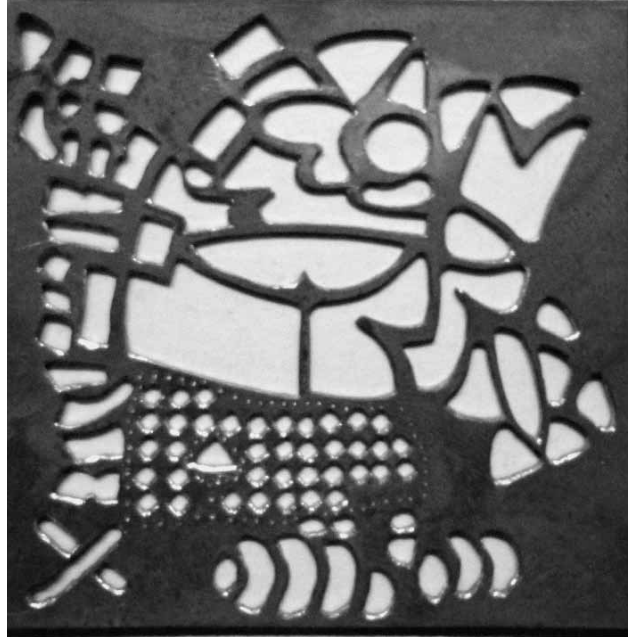
銅版19
まるめろ酒
[寸法]6.5×6.5



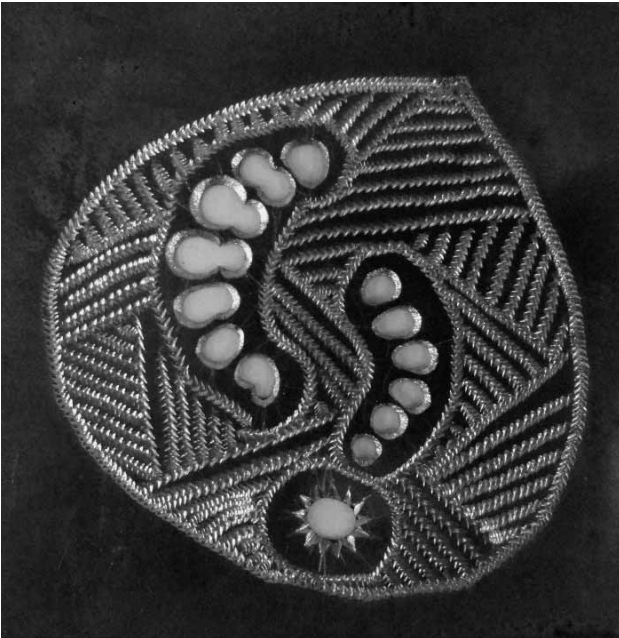
銅版40
りんご
[寸法]6.5×6.5



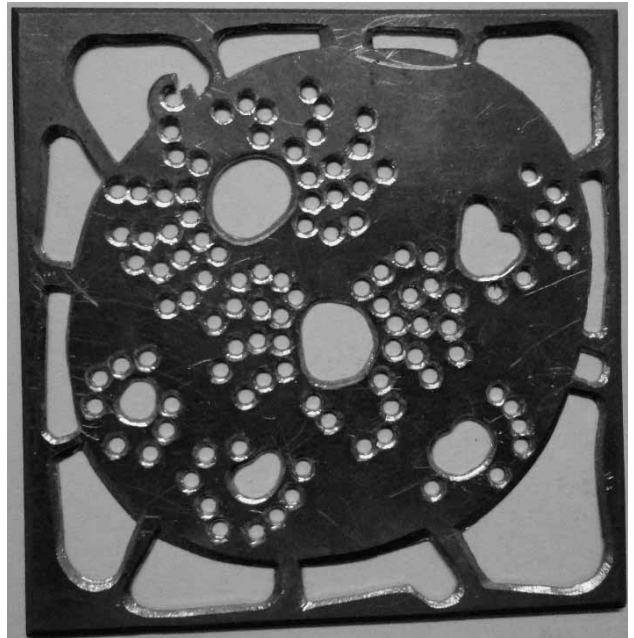
銅版25
角巻母と四人の子供
[寸法]6.5×6.5



銅版57
木八えんぶり
[寸法]6.5×6.5



銅版42
くりと虫
[寸法]6.5×6.5



銅版68
小さな蟹
[寸法]6.5×6.5